

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	コミュニケーション論	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年					
				曜日・時限	月曜・1限					
担当教員	中村 千絵									
授業概要	<p>作業療法士は、患者様のその人らしい生活を支援するため、ご家族や多職種とのチーム医療を実施します。患者様や利用者様、その方のご家族との面談において、その人らしい生活を聞くためには良好な人間関係の構築と面接における作業療法士としての基本的態度と面接技法が求められます。</p> <p>本講義では、患者様との面談力とともに背景となる情報を引き出す質問力を身につけることを目的とします。</p>									
学習目標	<p>① 作業療法面接において、対象者のやりたい生活行為を引き出すための質問方法(オープンクエスチョン、クローズドクエスチョン)が説明できる。</p> <p>② 興味・関心チェックシートを用いて対象者のやりたいことを確認し、表記することができる。</p> <p>③ ライフサイクルと集団について説明できる。</p> <p>④ 実際の面接から、対象者の主訴とニードを聞き取ることができる。</p>									
回数										
1回目	作業療法の定義と作業療法士の介入方法について									
2回目	面接の態度と面接位置について									
3回目	ライフサイクルとは(P.29-33)									
4回目	ライフサイクルと集団 家族・遊び・学習集団について(P.34-38)									
5回目	情報収集(生活歴や職歴など)について									
6回目	情報収集面接(実技)									
7回目	「生活行為聞き取りシート」を使ったインテーク面接技法について									
8回目	「興味・関心チェックシート」を用いた面接技法について									
9回目	面接技法を使ってみよう(実技)									
10回目	作業療法におけるプランニングについて①									
11回目	作業療法におけるプランニングについて②									
12回目	作業療法におけるプランニングについて②									
13回目	面接OSCE(実技試験①)									
14回目	面接OSCE(実技試験②)									
15回目	まとめ									
教科書及び参考書	ひとと集団・場 【新版】治療や援助、支援における場と集団のもちい方 新版/三輪書店 適宜、作業療法士協会MTDLPに基づいた資料を配布する。									
成績評価	面接OSCE50%、期末試験50% 遅刻1点、欠席3点減点とする。									
学生へのメッセージ(受講上の留意点)										
<p>私達作業療法士が治療を行う際にまず確認することは、患者様が退院後にどのような生活を希望されているのか、その生活を送るために作業療法をプランニングします。対象者のやりたいことを引き出すことを「面接」といいます。</p> <p>病気や怪我で不安を感じておられる対象者に面接を行う際には、話しやすい雰囲気や座席の位置、質問の仕方などにも気を配ります。本講義では、皆さんがあなたの卵として、これらの技法を学び、実践できる力を身につけるお手伝いをします。</p> <p>実技試験に緊張する学生さんもいます。事前の模擬練習も可能です。また、授業内では様々なパターンでの面接練習を行います。コミュニケーションの基本となることですので、学んだ技法は日常生活で練習していってください。オフィスアワーは授業の前後と月曜日の放課後とします。</p>										

社会学概論(1684)		大兼健寛			
		併修科目・必修			
		1年			
		月曜2限			
授業のねらい	私たちが生きている社会について、それをあるがままに観察し、その仕組みについて分析するのが社会学である。また、社会学からは様々な社会問題が提起されている。この科目では社会学の考え方やその対象、社会問題等について幅広く学習する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設題	レポート 1	産業化とそれによる社会の変化について述べよ。	下書き 5月29日(月)授業内		
	(ポイント)	近代化、産業化とは何かを明らかにした上で、それが社会全体にどのような影響を与えたかについてまとめる。	清書 7月3日(月)授業内		
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	学習のポイント・1 社会変動の要因について 学習のポイント・3 社会システムについて 学習のポイント・5 社会集団とその分類について	科目終了試験7月27日(木) 実施予定		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	「社会学」という概念、近代化と産業化について				
2	産業化による影響①				
3	産業化による影響②				
4	下書き レポート作成				
5	学習のポイント・1 社会変動の要因について				
6	1250字 レポート作成				
7	学習のポイント・3 社会システムについて&1250字 レポート作成				
8	学習のポイント・5 社会集団とその分類について&1250字 レポート作成				
9	清書 レポート作成				
10	社会学理論各論①				
11	社会学理論各論②				
12	社会学的思考実験①&1250字 レポート返却				
13	社会学的思考実験②				
14	科目終了試験対策				
15	「社会学概論(1680)」科目終了試験(持ち込み不可)				
期末試験					
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。欠席1回につき-10点、遅刻1回につき-3点		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度等を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出することを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

心理学入門(1641)		木村洋太	併修科目・必修		
			OT 1年		
			月曜 3限		
授業のねらい	心理学が誕生・発展してきた歴史を概観しつつ、今後、様々な心理学の応用分野を学ぶために必要な心理学的思考方法、および、基礎知識を身につけることを目的とする。簡便な心理学実験や心理テストなどの実践を通して、「心理学とは何か」といった入門 学修を行っていく				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設題	レポート 1 (ポイント) 心理学が学問として成立してきた歴史について述べるとともに、心理学的知見がどのように現代社会に応用されているかについて実例を含めて記述すること。ヴァントの構成主義心理学以降、新行動主義までの心理学史について、それぞれの立場を簡潔に整理しながらまとめ、さらに、福祉・教育・医療・産業などの分野において、心理学で明らかになった事柄がどのように利用されているかを考察する	下書き	5月22日(月)		
	レポート 2 (ポイント)	清書	6月12日(月)		
	科目終了試験 2. 記憶のメカニズムについて 4. 心理的ストレスについて 5. 人格の発達について	科目終了試験7月27日(月) 実施予定			
	期末試験・スクーリング修了試験 詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション 心理学と科学				
2	心理学のあゆみ (さまざまな研究領域) ヴァント vs 行動主義、機能主義、ゲシュタルト、精神分析				
3	スキナーの新行動主義から現代の心理学の専門分野と活躍分野				
4	行動主義以降の心理学、現代の心理学の専門分野				
5	下書きレポートの作成指導。				
6	学修のポイント2 記憶のメカニズムについて(記憶の過程と短期の記憶)				
7	学修のポイント2 記憶のメカニズムについて(長期の記憶と感情の影響)				
8	学修のポイント2 記憶の障害について 学修のポイント2 レポート作成&提出				
9	学修のポイント5 自分の性格について考える:性格検査をやってみよう:特性論と類型論				
10	学修のポイント5 人格の発達:性格検査その2 : 力動論				
11	学修のポイント5 レポート作成&提出				
12	学修のポイント4 適応とストレス				
13	学修のポイント4 ストレスコーピング 自分のストレス・コーピングを考える				
14	学修のポイント4 レポート作成&提出				
15	「心理学入門(1641)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	40点 持ち込み:可、論述式			
	授業内評価	30点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	<p>授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出することを心がけてください。</p> <p>レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。</p>				

2023年度前期 理学・作業名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法概論(基礎)	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年									
				曜日・時限	火曜・1限									
担当教員	伊藤 大貴													
授業概要	作業療法士を目指す第一歩として、作業療法士の役割を理解し、専門職としての意識を高めることが重要です。この授業を通じて、作業療法に関する基礎的および実践的な内容を習得できるように学んでいきましょう。													
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法とは何かを説明できる。 ・「作業」とは何かを議論し合い、自分の言葉で説明できる。 ・作業療法の評価から治療に至る流れを説明できる。 ・身体機能分野・精神機能分野・発達過程分野・高齢期分野における作業療法の役割と内容の概略を説明できる。 													
回数														
1回目	作業療法とは P3-13													
2回目	作業療法の歴史と原理 P15-25													
3回目	作業療法に関連する予備知識 P27-38													
4回目	作業療法の実践現場 P40-47													
5回目	作業の分析と治療への適用 P51-83													
6回目	作業療法士の養成と教育 P87-119													
7回目	日本作業療法士協会とWFOT P120-141													
8回目	作業療法の実践過程 P145-164													
9回目	身体機能分野における作業療法の実際 P169-181													
10回目	精神機能分野における作業療法の実際 P182-195													
11回目	発達過程分野における作業療法の実際 P196-211													
12回目	高齢期分野における作業療法の実際 P212-227													
13回目	社会保障制度の理解 P231-244													
14回目	作業療法部門の管理運営 P246-269													
15回目	まとめ													
		※単元テスト		伊藤 大貴										
		※パフォーマンステスト		伊藤 大貴										
教科書及び参考書	標準作業療法学専門分野 作業療法学概論 : 医学書院													
成績評価	単元テスト(30%)、パフォーマンステスト(30%)、期末テスト(40%)、※欠席は3点、遅刻は1点減点とします													
学生へのメッセージ(受講上の留意点)														
<p>・1回目～8回目までの授業内容に関する内容をどの程度理解できているかを、単元テストにて確認します。期末テストは全範囲ですが、単元テストとパフォーマンステストの内容、9回目～14回目までにポイントとして伝えた部分を中心に出題する予定です。</p> <p>・これから患者様・ご家族様・他職種(医師・看護師・介護士などの医療従事者)に作業療法について説明する機会が必ずあります。そこで、作業療法とは何かを説明できるようになったかを、最後のパフォーマンステストにて確認します。どのようにしたら作業療法に触れていない相手に理解をしてもらえるのかを考え、自分の言葉で説明できるようになります。</p>														

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学 I	授業形態  講義・演習・実習	学科・年次 曜日・時限	OT・1年 水曜・1限				
担当教員	杉野潤也							
授業概要	この授業では、生理学の神経、筋、呼吸・循環器などの身体を動かす機能を中心に学習します。私たちの身体の中で何が起こっているのかがわかると、病気の原因が理解できるようになります。生理学は作業療法の対象疾患・障害の病態や発生メカニズムを理解することに役立ちます。							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞のしくみが説明できる。 ・神経の興奮伝導と末梢神経、中枢神経系のしくみが説明できる ・筋、骨格系、感覚器のしくみが説明できる。 ・血液、循環器、呼吸器系のしくみが説明できる。 							
回数								
1回目	オリエンテーション、生命現象と人体(第1章 3~12ページ)、細胞の機能と構造(第2章 13~19ページ)							
2回目	神経の興奮伝導と末梢神経1(第3章 21~26ページ)							
3回目	神経の興奮伝導と末梢神経2(第3章 26~31ページ)							
4回目	中枢神経系1(第4章 33~41ページ)※確認テスト(授業1回目~3回目)							
5回目	中枢神経系2(第4章 42~50ページ)							
6回目	筋と骨1(第5章 53~63ページ)							
7回目	筋と骨2(第5章 64~69ページ)							
8回目	感覚1(第6章 71~74ページ)							
9回目	感覚2(第6章 74~84ページ)							
10回目	血液1(第7章 86~92ページ)※確認テスト2(授業4回目~9回目)							
11回目	血液2(第7章 92~99ページ)							
12回目	心臓と循環1(第8章 102~109ページ)							
13回目	心臓と循環2(第8章 114~127ページ)							
14回目	呼吸とガスの運搬1(第9章 131~138ページ)※確認テスト3(授業10回目~13回目)							
15回目	呼吸とガスの運搬2(第9章 138~142ページ)							
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版 / 医学書院							
成績評価	定期テスト70%、確認テスト30%、欠席1回減点3、遅刻1回減点1							
学生へのメッセージ(受講上の留意点)								
<p>授業は教科書の重要なポイントを理解できるように支援します。重要なポイントを理解するためには積極的な授業への参加が必要です。授業では、みなさんが生理学の知識の理解に役立つプリントを用意します。授業後、復習をしましょう。復習を行うことは専門用語が多く出てくる生理学の学習には大切です。復習を行うことで知識が整理され、定着します。</p> <p>成績は確認テスト、期末テスト、出席率で判断します。オフィスアワーは随時行います。オフィスアワーでは授業時間内で質問できなかったことや、わからなかったことなどを相談しに来てください。お待ちしています。</p>								

心理学概論(1673/1674)		橋本香織			
		併修科目・必修			
		1年			
		PT・OT木曜1限			
授業のねらい	現代社会が抱えるさまざまな問題を心理学の観点からアプローチできるようここでは心理学全体を見渡すことを目的とする。そこで、心理学とは何か、から始まり、心理学分野を「心の仕組み」、「心の問題を紐解く」、「心のケアと支援」、という3つの大きな領域から考え、心理学の成り立ち、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学修していく。本科目を学ぶことで、心理学とはどのような学問か、その成り立ち体系を知ることができ、かつ考え方が理解できる。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設題	レポート 1	各発達段階の特徴について述べよ。	下書 5月25日(木)		
	(ポイント)	乳幼児期、児童期、青年期、壮年期、老年期など発達段階特有の身体的・心理的特徴について述べ、さらに発達段階でどんな問題行動があるか考察し、その対処法について述べること。	清書 7月6日(木)		
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	1. 人間の感覚・知覚・認知の特質について 2. 人格の諸理論について 3. 心理療法について	科目終了試験7月20日(木) 実施予定		
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション・心理学とは何か?				
2	発達心理学:発達の定義、ライフサイクル理論、乳幼児期・幼児期・児童期の心身の発達と課題				
3	発達心理学:青年期の心身の課題と発達 アイデンティティとは何か				
4	発達心理学:成人期・老年期の心身の発達と課題				
5	下書きレポート作成				
6	学修のポイント2 : 人間の感覚・知覚・認知の特質				
7	学修のポイント2 : 人間の感覚・知覚・認知の特質 レポート作成(6月1日授業後提出)				
8	学修のポイント1 : 人格の諸理論について				
9	学修のポイント1 : 人格の諸理論について レポート作成(6月15日授業後提出)				
10	学修のポイント6 : 心理療法について				
11	学修のポイント6 : 心理療法について レポート作成(6月29日授業後提出)				
12	日常生活と心の健康 清書レポート作成(7月6日授業後提出)				
13	心のケアと支援				
14	講義のまとめ、科目終了試験 解説				
15	「心理学概論」科目終了試験(持ち込み不可)				
期末試験					
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	レポート・1200字レポートのまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出することを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守してください。 授業中、無断の携帯電話の使用、私語、飲食、居眠りは厳禁です（欠席又は遅刻扱いになります）。 出席は、80%以上が求められます。80%を下回る場合は、課題の提出または一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年					
			曜日・時限	木曜・2限					
担当教員	藤野頼貴、日比和宏、杉野潤也								
授業概要	作業療法士が対象とする人々は、怪我や病気によって思う様に体を動かす事が出来ない方々です。その原因の多くは運動器(骨・関節・筋)の問題によって引き起こされます。この科目では、正常な身体がどのような仕組みになっているのか、教科書だけではなく、骨標本やクラスメートの身体を触診し実技中心の指導をします。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・骨の図に部位の名称を図示できる ・筋の形状から名称を答えられる ・模擬患者に骨ランドマークの触診を実践できる ・模擬患者に筋の触診を実践できる 								
回数									
1回目	オリエンテーション(体表解剖学について)、骨の部位名称1(教科書①46~67ページ)								
2回目	骨の部位名称2(教科書①68~77ページ)								
3回目	骨の部位名称3(教科書①78~92ページ)								
4回目	骨の部位名称4(教科書①46~92ページ)								
5回目	骨の部位名称5(教科書①46~92ページ)								
6回目	筋の名称と形状1(教科書①196~210ページ)								
7回目	筋の名称と形状2(教科書①211~223ページ)								
8回目	触診 上肢帯1(教科書②10~13、16~59ページ)								
9回目	触診 上肢帯2(教科書②154~222ページ)								
10回目	触診 上肢帯3(教科書②60~82ページ)								
11回目	触診 上肢帯4(教科書②83~106ページ)								
12回目	触診 上肢帯5(教科書②223~260ページ)								
13回目	触診 上肢帯6(教科書②260~341ページ)								
14回目	触診 上肢帯7(教科書② 実技練習)								
15回目	触診 上肢帯8(教科書② 実技練習)								
教科書及び参考書	教科書① 標準理学療法学・作業療法学 解剖学/医学書院 教科書② 機能解剖学的触診技術 上肢/メディカルビュー								
成績評価	期末テスト50%、実技テスト50%(25%×2回) 欠席-3点 遅刻-1点 各実技テストについては1回。再試はありません。実技テストの日程は後日アナウンスします。								
学生へのメッセージ(受講上の留意点)									
講義外学習では予習・復習・テスト勉強・実技練習を含めて15時間の勉強を行うことで、必要な知識の定着が出来ると考えています。勉強で困ったことがあれば早めに報告・連絡・相談をしてください。基礎医学実習室などを使用し、自習を行う際には教務室にアポイントメントを取ってください。触診の授業では実施しやすいように、半袖半ズボンなどの動きやすい服装で参加してください。実技テストでは学生同士で練習し、教員の模擬テストを受けるなど自ら緊張する場面を作り、テストまでに慣れる工夫をしましょう。									

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動学 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	金曜・1限
担当教員	藤野 順貴 杉野 潤也 日比 和宏				
授業概要	作業療法士は人の動きや様々な作業活動を分析し、作業を治療に活用したり、対象者が行いたい作業を行えるようにアプローチします。そのためには科学的根拠に基づいた身体運動を理解する必要があります。本科目では関節運動のメカニズムを学びます。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・応用動作を行うには関節運動が安定性と可動性を兼ね備えていることを説明できる ・身体の位置を基本面(矢状面、前額面、水平面)を用いて表現できる ・対象者の運動機能について決められた単位(メートル、度数法)で表現できる ・効率的な運動のためにこの原理を使用することができる ・支持基底面と重心の違いが姿勢の安定性に影響を与えることを説明できる ・各関節運動を専門用語(屈曲、外転等)で説明し実演できる ・姿勢の写真を関節運動で表現できる ・上肢・下肢の関節可動域(ROM-T)を2人で正確に測定できる 				
回数					
1回目	オリエンテーション 運動学とは？ P3～5				
2回目	運動学と力学の関連、運動の種類や大きさ、力の概念、運動と力 P7～25				
3回目	運動とエネルギー 回転運動 P26～36				
4回目	神経系の基本構造 反射運動 神経系と随意運動 P66～84				
5回目	上肢の運動 肩複合体 P86～95				
6回目	肘関節と前腕 P98～105				
7回目	手関節、手、指 P105～119				
8回目	上肢関節可動域測定				
9回目	上肢関節可動域測定				
10回目	下肢の運動 股関節の運動 P121～129				
11回目	膝関節の運動 P130～139				
12回目	足関節及び足部の運動 P140～148				
13回目	下肢の運動連鎖 下肢筋の運動連鎖 P149～153				
14回目	下肢関節可動域測定				
15回目	下肢関節可動域測定				
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 運動学 第一版 臨床ROM 第一版				
成績評価	実技試験①($10\% \times 2 = 20\%$) 実技試験②($15\% \times 2 = 30\%$) 期末試験(50%) 出席率(欠席3点減・遅刻1点減) * 実技試験①は上肢の関節運動(10%) 下肢の関節運動(10%) * 実技試験②は上肢関節可動域測定(15%) 下肢関節可動域測定(15%)				

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

運動学は解剖学・生理学と並び、作業療法士として必要不可欠な科学的知識の一つです。普段の生活動作(着替えやトイレ、入浴、食事等)から例えばゲームやスマホを利用する時の手指の動きや姿勢、スポーツするときの関節の動きなど、皆さんのが普段行っている活動すべて説明できます。作業療法を行う上で、運動学は根拠に基づいた治療を提供するための必要な知識となります。

講義終了時にはその日の講義に関する確認を行います。単元テストでは授業内で行った確認内容を復習し、テスト勉強に役立たせてください。実技テストでは指示された関節運動についての可動域測定を行います。実技授業では半袖半ズボンなどの動きやすい服装で参加してください。

授業のねらい	臨床心理学概論 3580	橋本 景子	併修科目・必修
			1年
			OT:金曜2限

授業のねらい	臨床心理学は、心理的な障害や問題に悩む人の適応や発達、自己実現を専門的に援助する実践について研究する学問である。心理アセスメントの様々な側面と方法について学び、さらに、様々な臨床心理学的援助の方法についても概説する。その上で臨床心理学的実践の様々な領域についての学修を重ね、実践的な臨床心理学的視点や思考方法を身につけていく。		
	教科書・資料 大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。		
設題	レポート 1 (ポイント)	心理療法の成り立ちについて述べよ。 心理療法誕生の歴史的背景についてまとめる。また、心理療法の代表的な3つの潮流(精神分析・行動主義・人間性心理学)それぞれの誕生の経緯についてまとめる。	清書 5月26日(金)
	レポート 2 (ポイント)	心理療法の代表的な理論について述べよ。 代表的な3つの心理療法(精神分析・行動療法及び認知行動療法・クライエント中心療法)を取り上げ、それらの背景となる理論、人間の心に対する考え方、適応となる対象者、援助技法などをまとめる。	清書 6月16日(金)
	科目終了試験	学習のポイント1.アセスメント面接の進め方とその留意点について 学習のポイント3.福祉分野における心理に関する支援について 学習のポイント4.教育分野における心理に関する支援について	科目終了試験 7月21日(金) 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表	
	1	4/7 臨床心理学とは何か、心理療法の成り立ち	
	2	4/14 レポートの書き方とフロイト派のアプローチ	

1	4/7 臨床心理学とは何か、心理療法の成り立ち	
2	4/14 レポートの書き方とフロイト派のアプローチ	
3	4/21 設題1のレポート指導 (書き出しを書いてみよう)	
4	4/28 設題1のレポート作成	
5	5/12 ユング派とロジャーズ派のアプローチ	*設題1のレポート下書き提出
6	5/19 認知行動療法	
7	5/26 設題2のレポート指導 (当然講義も含まれるので欠席すると大変です)	
8	6/2 設題2のレポート作成	
9	6/9 心理アセスメント(1)	*設題2のレポート下書き提出
10	6/16 心理アセスメント(2) point1をまとめてみよう	
11	6/23 福祉分野の心理臨床と教育分野の心理臨床	*point1 提出
12	6/30 教育分野の心理臨床 point4をまとめてみよう	*point3 提出
13	7/7 各発達期における課題と問題(1)	*point4 提出
14	7/14 各発達期における課題と問題(2)	
15	7/21 科目終了試験	
	期末テスト	

成績評価	出席率	30点 80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	50点 持ち込み:可、論述式
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を使い、早く提出することを心がけてください。
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2023年度前期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学 I	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	OT・1年					
				曜日・時限	金曜・3限					
担当教員	王 静舒									
授業概要	解剖学は正常な人体の形態と構造を研究する学問である。 解剖学 I では、解剖学総論(組織学と発生学を含む)及び感覚器系、内臓学(循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系及び内分泌系)を分担する。 人体および人体を構成している細胞・組織・器官の形態・構造の基本知識を系統的に学ぶ。臓器の働きを理解する基礎を作る。									
学習目標	①細胞の基本構造を理解して、臓器に関する学習に確実な基礎を作る。 ②人体の発生については、胚子期における形態変化を学ぶ。 ③感覚器系では、表皮、視覚器、平衡聴覚器の構造を身に付ける。 ④循環器系では、心臓、及び全身の動・静脈系の概論を学ぶ。 ⑤呼吸器系では、ガス交換にかかる肺と気管支の構造を理解する。 ⑥消化器系では、胃、腸等全長約9mの消化管の構造を理解する。 ⑦泌尿器系では、排尿にかかる構造体の全容を理解する。 ⑧男性・女性の生殖器では、基本構造を理解する。 ⑨内分泌系では、各内分泌腺の特徴を学ぶ。									
回数										
1回目	解剖学総論(Page3~8):解剖学の定義・用語①、人体の区分・腔所①									
2回目	人体の構成(Page9~20):細胞の構成要素、人体の組織									
3回目	人体の発生(Page21~36):胚子の発生、器官系の発生①									
4回目	感覚器系 I (Page319~331):表皮と真皮①、視覚器①、嗅覚器と味覚器①									
5回目	感覚器系 II (Page319~331):平衡聴覚器①									
6回目	内臓器系 I 内臓器官の基本構造(Page333~334):中空性・実質性器官の特徴 内臓器系 II 循環器系(P335~340):血管系と心臓の基本構造①									
7回目	内臓器系 II 循環器系(Page341~350):動脈系①									
8回目	内臓器系 II 循環器系(Page350~359):静脈系①、胎生期の循環系とリノバ系									
9回目	内臓器系 III 呼吸器系(Page360~366):鼻、咽頭と喉頭の構造①、発声の仕組み①									
10回目	内臓器系 III 呼吸器系(Page366~369):気管と気管支、肺、胸膜と縦隔の構造①									
11回目	内臓器系 IV 消化器系(Page370~373):口腔、唾液腺、咽頭及び食道の構造①									
12回目	内臓器系 IV 消化器系(Page373~380):胃・腸の構造①、消化腺(肝臓)・胆嚢の構造及び機能①									
13回目	内臓器系 V 泌尿生殖器系(Page384~389):腎臓の構造①、尿路の構成①									
14回目	内臓器系 V 泌尿生殖器系(Page390~396):男性生殖器①、女性生殖器①、付属生殖腺①									
15回目	内臓器系 VI 内分泌(Page398~400):下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、胰島、視床下部及び腎臓・消化管の内分泌機能①									
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学(第5版)(医学書院)									
成績評価	期末試験(筆記試験)(60%)、授業内確認テスト(15%)及び提出課題(10%)、出席(15%)などで総合的評価									
学生へのメッセージ(受講上の留意点)										
①授業前、予習が大事！初耳の言葉を繰り返し音読してみよう ②授業中、配布資料にメモ & ノートをしっかり記録しましょう。授業内容理解に努めましょう ③授業中、質問に対して積極的に考えて答えましょう ④授業後、授業内容を振り替えながら、配布資料を完成しましょう ⑤毎日朝昼晩、最低10分間、解剖学の暗記時間を設けてみましょう ⑥毎回授業前の小テストを真面目に挑んでみましょう										